

# 英語除く外国語 検定存続の危機

新型コロナウイルスの感染拡大で英語以外の「第二外国語」の検定試験を取り巻く環境が厳しくなっている。試験中止で受験料収入が得られず今後の見通しも立たない。専門家は異文化や多様な価値観に触れる幅広い語学教育の機会を失いかねない事態を懸念している。

「イタリア語を学ぶ人が目標を失わないように検定を続けたいが、状況は厳しい」。年間3千人以上が受験するイタリア語検定を運営する協会の岩崎保順専務理事は表情を曇らせる。

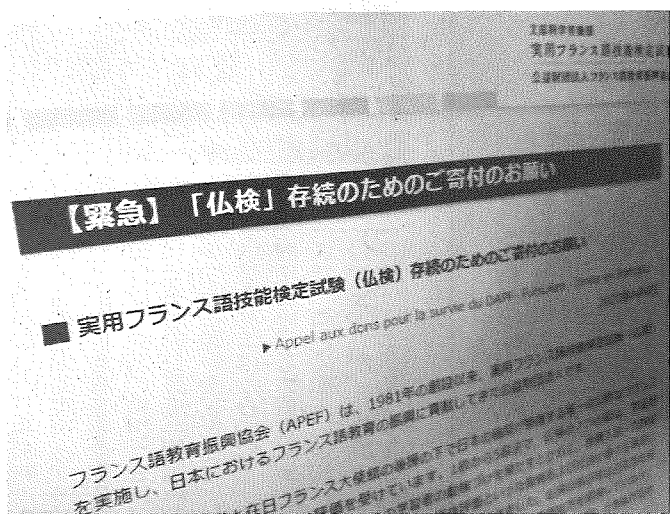
同検定は毎年3月と10月に実施しているが、新型コロナウイルスの感染が広がり始めた今年3月は中止した。試験会場のキャンセル代などを含め計900万円の損失を出した。6月から募った寄付金などで資金を調達したが家賃や人件費などで月50万円以上の固定費はかかる。民間の検定試験団体で

## コロナで試験中止 収入得られず SNS通じ、寄付募る

つくる全国検定振興機構も中止になれば運営が難しくなる可能性があり、(東京)の感染対策ガイドラインは、受験者数は試験会場の定員の半分以下に抑えることなどを求めている。10月の試験はこれまでより広い会場を確保する必要があり、会場代も高くなった。年2回の試験に2万人以上が受けるフランス語技能検定も6月の試験を中止し、年間収入の約4割を失った。次回の11月

も中止になれば運営が難しくなる可能性があり、現在SNSなどを通じて寄付を募っている。一方、英語の検定試験は既に再開したり、再開が決まったりしている。年400万人に迫る受験者数を持つ英検は6月の試験を実施しており、次回は10月に行う。例年2月と8月を除いて毎月実施されるTOEICは、普段の受験者数

フランス語教育振興協会は6月からホームページ上で寄付を呼びかけている



検定	試験日	対応
イタリア語検定	3月1日	中止
中国語検定	3月22日	6月に延期、一部の会場では中止
ハングル能力検定	6月7日	11月に延期
フランス語技能検定	6月21日	中止
ドイツ語技能検定	6月28日	中止

(注)各検定試験のホームページより作成

約10万人を3分の1程度に抑え、9月から再開する。9月分は先着順で約3万6千人が受験する予定。10月分は申し込みが殺到してシステムが不具合を起こし抽選で受験者を決めた。今年度中はすべて抽選にするという。第二外国語の検定試験

### 学習意欲の低下 懸念

日本では英語を除いて10カ国語以上の民間の検定試験が行われている。受験者は進学や単位取得、人事評価などのために受ける10代が大半を占める。神奈川県立横浜国際高校(横浜市)では1年次は第二外国語が必修で、大半の生徒が3年間継続的に学習する。フランス語を指導する本間仁教諭は「検定を目標に勉強し、結果を大学入試で活用する生徒も多い。自分の努力の結果を客観的に評価できなければ、モチベーションを保つのは難しい」と話す。第二外国語

## 受験 10~20代大半 進学・評価に影響も

を履修する日本の高校生は全体の1%にとどまるが、韓国や中国などでは多くの生徒が高校から学習する。筑波大グローバルコミュニケーション教育センター長の白山利信教授(外国語教育)は「日本の第二外国語の教育は既に遅れている。さらに検定試験を継続できなければ第二外国語の教育は一層縮小しかねない。国際社会で活躍する人材の多様性を育むには、検定試験の維持も含め、国が第二外国語の教育を支える体制を整える必要がある」と話している。

第1512回数字選択式全国自治宝くじロト6抽せん結果(27日)【本数字】 01、11、12、24、32、38【ボーナス数字】 39

▽1等 277,445,900円(1口)  
▽2等 7,080,100円(10口)  
▽3等 234,500円(326口)  
▽4等 5,200円(15409口)  
▽5等 1,000円(224112口)  
▽キャリアオーバー 0円

が受験した。ただ、18年以降は試験をしていない。宮川佳子理事長は「今でも再開を望むメールが届くが、民間の有志だけでは資金力もなく、再開のめどはたたない」と明かす。

フランス語教育振興協会の西沢文昭理事長は「国は英語に偏らず、多様な語学学習を支える環境に経済的な支援を講じてほしい」と訴える。